

人は八幡大菩薩の子也。今日本國の一切衆生は八幡をたのみ奉やうにもてなし、釋迦佛をすて奉、影をうやまつて體をあなづる。子に向て親をのる(言)がごとし。本地釋迦如來にして月氏國に出でては正直捨方便の法華經を説給、垂迹日本國生ては正直の頂にすみ給。諸の權化の人々本地は法華經、一實相なれども垂迹の門無量なり。所謂髮俱羅尊者は三世に不殺生戒を示、鳶崛摩羅生々に殺生を示す、舍利弗外道となり、如是門々不同なる事は、本凡夫にて有し時の初發得道の始を成佛の後化他門に出給時、我が得道の門を示すなり。妙樂大師云、若從本説亦如是。昔於殺等惡中能出離。故是故迹中亦以殺爲利他法門等云云。今八幡大菩薩は本地月氏の不安語の法華經を、迹に日本國にして正直の二字となして賢人の頂にやどらむと云云。若爾者此大菩薩は寶殿をやきて天にのぼり給とも、法華經の行者日本國に有ならば其所に栖給べし。法華經第五云、諸天晝夜常爲法故而衛護之文。經文の如ば南無妙法蓮華經と申人をば大梵天帝釋・日月・四天等晝夜に守護すべしと見えたり。又第六卷云、或説己身或説他身或示己身或示他身或示己事或示他事文。觀音尙三十三身を現じ、妙音又三十四身を現じ給ふ。教主釋尊何ぞ八幡大菩薩と現じ給はざらんや。天台云、即

①る=り②第45紙14行③④髮=簿⑤[な]-⑥[如]-⑦第46紙初3行、天...べし#29字⑧第46紙後〔法...云*〕147字⑨缺

是垂形十界作種々像等云云。

天竺國をば月氏國と申、佛の出現し給べき名也。扶桑國をば日本國と申、あに聖人出給ざらむ。月は西より東に向へり。月氏の佛法、東へ流べき相也。日は東より出。日本の佛法、月氏へかへるべき瑞相なり。月は光あきらかならず。在世は但八年なり。日は光明月に勝れり。五々百歳の長闇を照べき瑞相也。佛は法華經謗法の者を治給はず、在世には無きゆへに。末法には一乘の強敵充滿すべし、不輕菩薩の利益此なり。各々我弟子等はげませ給へく。

弘安三年太歲庚辰十二月 日

日 蓮花押

三九六 大夫志殿御返事

小袖一直垂三具・同腰三具等云云。小袖七貫、直垂竝腰十貫、已上十七貫文に當れり。夫以天台大師御位章安大師顯云、止觀第一引序文云、安禪而化位居。五品。故經云、施四百萬億那由佗國人一一皆與七寶。又化令得六通。不如初隨喜人百千。

【系年】弘安三年(59) 【真蹟】5紙斷 京都妙覺寺外四所散在 【刊】外933遺2969縮2041 【註】叢上41考410

①第47紙14行②出=西へ入③〔弘...花押〕16字一④〔建武第三丙子六月六日〕□奉畢日道花押〕18字十⑤